

令和5年度 学校自己評価システムシート (学校法人狭山ヶ丘学園 狭山ヶ丘高等学校附属中学校)

目指す学校像	21世紀を担う知勇兼備のリーダーの育成を目指す
--------	-------------------------

重点目標	1 教科指導の徹底と学力向上 2 基本的生活習慣の徹底 3 対話を重視し個々の人格を尊重した指導
------	--

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	10名
	生徒	0名
	事務局(教職員)	4名

学 校 自 己 評 価						
年 度 目 標				年 度 評 価 (6月10日現在)		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度
1	<ul style="list-style-type: none"> 生徒が主体的に学ぶことができる授業への取り組みを更に充実させ、全員の学力向上を目指す。ゼミ、放課後の小テスト等を定期的に行い、確実な基礎力を定着させる。また、プロジェクターを活用し、視覚に訴える授業も展開している。 自学自習の習慣の定着について指導しているが、意識や取り組みに個人差があり、徐々に学力の差が出来つつある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全国レベルの模擬試験を通じて学力の推移を見守る。 定期考査の結果やその変化に着目。 検定試験の結果を分析する。 Google Workspaceを使用している様子に着目。 担当教諭とのコミュニケーションに着目。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科担当者と学年団との連携を密にし、共通認識に基づいて指導を展開する。 曜日ごとに設定している5教科の小テストを通じて生徒の自学自習の習慣を定着させる。またGoogle Workspaceを活用して課題を配信し、生徒に家庭学習を促す工夫を凝らす。 英検の受験を促し、対策講座を通じて多くの合格者を出すことにつとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 模試のGTZの推移 定期考査に取り組む姿勢や日常の自習室の利用状況 英検の合格者の推移 	<ul style="list-style-type: none"> 模試については全体として学校の平均点偏差値が向上しており、GTZの推移を見ても学力の向上はうかがえる。 自習室の利用状況については、考査前は多くの生徒が利用しているが、それ以外の期間では、利用する生徒が固定化されており、自学自習の習慣定着には課題が残る。 	B
2	<ul style="list-style-type: none"> 全体として出席状況は良好であるが、生活習慣が乱れている生徒も散見される。 素直で良い生徒が多いが、時として周囲への配慮が足りず、人間関係のトラブルに発展するケースがある。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業中や学校行事時の行動に着目する。 放課後の生徒間のコミュニケーションに着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> 「生活の記録」を通じて生徒の生活状況を確認し、必要に応じて改善を促す。 友人への言葉遣いなど、言動に不適切なものがあれば指導する。 	<ul style="list-style-type: none"> 状況に応じて適切な言動がとれているかどうか。 挨拶の定着度。 生活のリズムが正しいかどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 概ね良好な人間関係を築けている。また、生徒指導も早期に行えている。 挨拶の習慣はしっかりと定着している。 	B
3	<ul style="list-style-type: none"> 面談やHR活動、総合的な学習の時間、道徳の時間等で生徒理解を深めている。今年度も更に生徒理解を深め生徒指導に当たる。 黙想等の自己観察を通して、自己を省みる習慣を身につけさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ゼミや農作業への活動への取り組みに着目。 学校生活における言動に着目。 	<ul style="list-style-type: none"> HRや進路ガイダンスなどを通じて、学ぶということの意義を理解させ、学力のみならず人間としての内面的成長を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科学習以外の取り組みに対しても、主体性をもって積極的に参加できているかどうかに着目する。 	<ul style="list-style-type: none"> 農作業や軽登山では友人と協働しながら参加できている生徒が多かった。 一方で、諸行事への取り組みにおいて指導を受ける生徒も散見された。 	B

学 校 関 係 者 評 価	
実施日	令和6年6月29日
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> 入学して間もない頃から友人たちと生徒ホールで勉強できることに楽しみを見出し、学習に対して子どもたちが前向きである。 学習の習慣化を図ることができているような様子である。 英語の学習が充実していると感じている。 	
<ul style="list-style-type: none"> 早期に友人たちとの良好な人間関係が築けており、前向きに学校生活に臨んでいる。 	
<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは、総合学習で行っている農作業は楽しいと言っている。 卒業式に参加している在校生の態度が非常に良好で立派だと感じている。 	